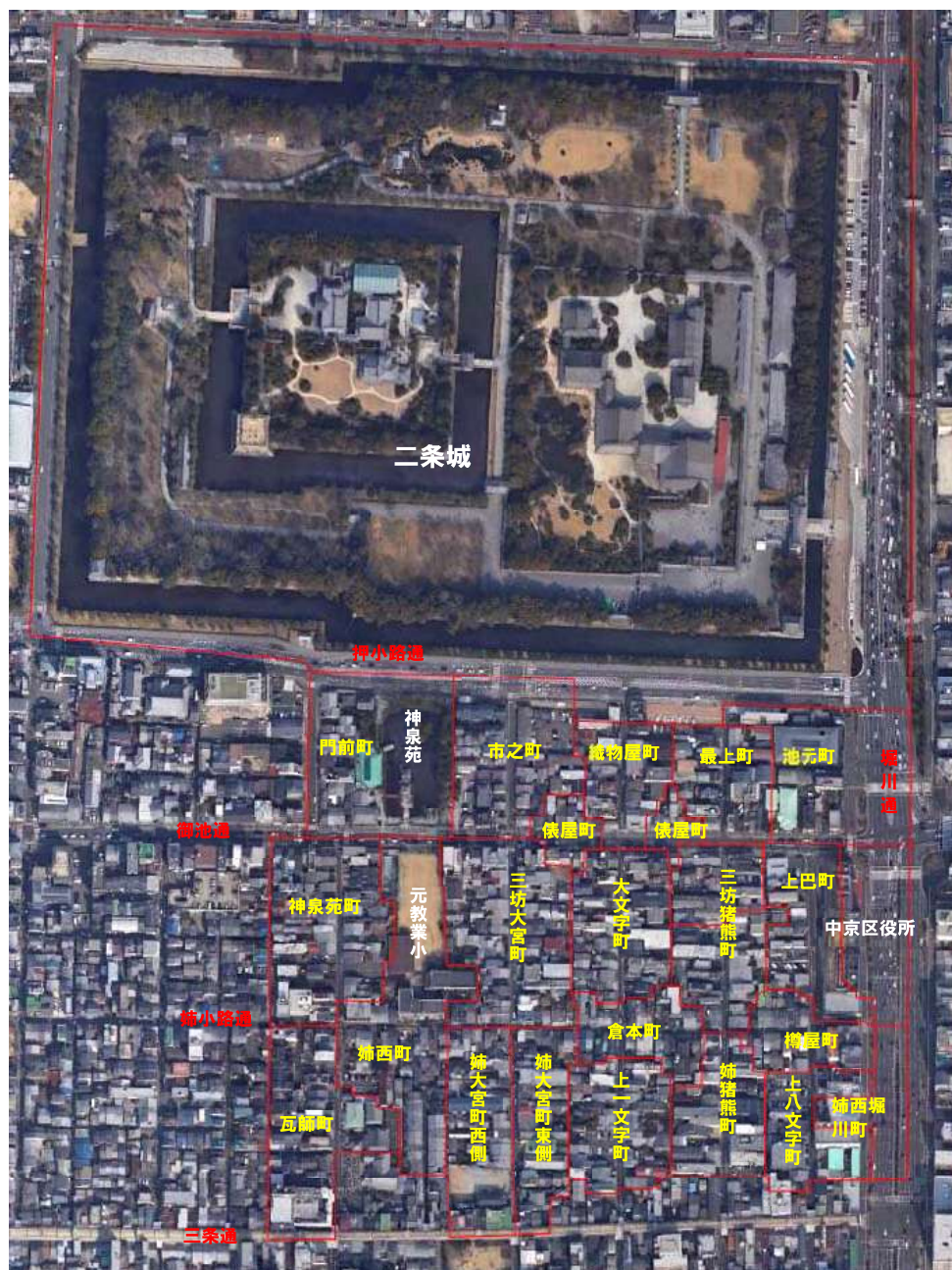


教業学区防災まちづくり計画

『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心・安全な教業のまち
－町内会を基本とした防災まちづくり－



教業学区自主防災会

1 防災まちづくりの目標と基本方針

＜ 防災まちづくりの目標 ＞

『互いの助け合い』の心が広がり、
顔の見える安心・安全な教業のまち
－町内会を基本とした防災まちづくり－

教業学区は平安京創設以来のまちの骨格や伝統・文化が今も生き続け、秀吉が作った通りや家康が築城した二条城を現代に引き継ぎ、歴史に培われた「互いの思いやりの心」がまちに根付いています。

本学区の歴史あるまちを大切に受け継ぎ、まちの防災性の向上にみんなで取り組み、『互いの助け合い』の心が広がり、顔の見える安心、安全な教業のまちを目指します。

＜ 防災まちづくりの基本方針 ＞

方針①

「家」で備えましょう

災害から家、身を守る備え

方針②

「避難」に備えましょう

災害に応じた安全な避難の備え

方針③

「町内会」で備えましょう

顔の見える安心感のある元気な町内会

方針④

「まち」で備えましょう

まち全体で進める防災まちづくり

2 防災まちづくり方針と具体的な取組

方針①

「家」で備えましょう

災害から家、身を守る備え

防災まちづくりの具体的な取組

① すぐできる備えに取り組みます

- ・発災時に不可欠な食料品や生活必需品など、生き延びるための備えをしましょう。
- ・家具の転倒防止や割れたガラスの飛散防止対策など、身近な場所の安全対策に取り組みましょう。



② 自分の家の耐震・防火対策を進めます

- ・いざというときに自身と家族の生命を守るため、自宅等の耐震性を把握することが大切です。
- ・耐震性、防火性が不足する建物は地域の防災性向上のために、耐震・防火対策を進めましょう。



③ 家のまわりの状況や危険度を知っておきます

- ・家のまわりの危険場所を確認して、安全な避難を心がけましょう。
- ・避難の際の町内会の集合場所と、自宅での避難生活と避難所生活の違いを理解することが大切です。



④ 避難のタイミングを把握しておきましょう

- ・避難の判断で生死が分かれる場合があります。様々な情報と自分の目と耳で確かめた情報をもとに判断します。
- ・緊急時の家族間の安否確認の方法を予め決めておきましょう。



方針②
「避難」に備えましょう

災害に応じた安全な避難の備え

防災まちづくりの具体的な取組

① 袋路の安全な避難経路確保を検討します

- ・ 2方向の避難ができない袋路は関係者と協議のうえ、路地奥に避難扉を設置するなど、複数の避難経路確保の検討に取り組みましょう。



② 地域の集合場所の安全性を再確認します

- ・ 地域の集合場所について安全性の再確認を行いましょう。
- ・ 災害の状況に応じて避難困難が予想される場合は複数の集合場所を設定しましょう。



③ 安全な複数の避難ルートを確認します

- ・ 地域の集合場所から避難所への避難ルートを地域で再確認します。
- ・ 災害状況に応じて複数の避難ルートの設定、ルートの安全性向上に取り組みましょう



④ 適切な避難情報と判断をもとに行動します

- ・ 避難所の災害時の利用について正確な情報を入手しましょう。
- ・ 災害の状況に応じた分散避難を各家庭で想定し、避難方法も設定しておきましょう



方針③
「町内会」で備えましょう

顔の見える安心感のある元気な町内会

防災まちづくりの具体的な取組

① 防災まちづくり活動に積極的に参加します

- ・災害時にあわてずに、自らの命を守り、地域の方々の安全を守るため、日頃から防災まちづくり活動の取組に積極的に参加・協力しましょう。



② 災害時の対応を町内会で共有します

- ・いざという時に地域の災害対策を円滑に行うため、予め町内会単位の災害時のルールについて話し合い、取組をみんなが確認、共有しましょう。



③ 高齢者等の見守り活動を強化しましょう

- ・日頃から高齢者等への声掛けの取組を進めましょう。
- ・災害時に自力で避難困難な方を把握し、災害時の避難支援方法について町内会で予め決めておきましょう。



④ 顔の見える安心感のある町内会を大切にします

- ・日常的な挨拶や声掛け、町内会の様々な活動での交流を通じて、「顔の見える安心感」が生まれます。
- ・町内会活動に積極的に参加、協力し、町内会での防災まちづくりの取組をさらに進めましょう。



方針④

「まち」で備えましょう

まち全体で進める防災まちづくり

防災まちづくりの具体的な取組

① 災害に強い家づくりを促進しましょう

- ・学区には木造建築が多く、耐震性に不安を持つ人が多いです。各家庭での建物の耐震性、防火性向上を進め、学区全体として「強い家づくり」の取組を促進しましょう。



② 学区全体での防災活動を発展させます

- ・防災活動の点検、各種防災関連データの更新等、防災活動に継続的に取り組みます。
- ・町内会と連携して防災まちづくりに関わる情報把握、発信に努めましょう。



③ 学区全体の防災まちづくりに取り組みます

- ・学区全体で取り組む具体的な防災まちづくり対策の検討・実践に向け、学区全体が協力し、京都市や専門家と連携、協力して取り組みましょう。



④ 学区内の事業所、マンションと災害時の協力体制強化に取り組みます

- ・学区に多く立地する事業所やマンション、ホテルなどと、災害時の協力体制について協議し、協定締結等の取組を進めましょう。



3 防災まちづくり取組体制

「町内会を基本とした防災まちづくり」の実現に向けて、学区全体、町内会単位、個人の役割と具体的な取組を明確にし、各主体が相互に連携・協働を図りながら防災まちづくりを進めます。

■学区 教業学区自主防災会

《役割》自治連合会との連携、協力による学区全体の防災まちづくり活動の主体

《取組》○防災まちづくり計画の実現に向けた学区全体で取り組む具体的な防災まちづくり対策の検討・実践

○町内会単位、個人単位の取組の調整、コーディネート

○自主防災会部長会で防災活動の情報提供と情報収集

○行政や各種団体、専門家等との情報交流・ネットワークづくり

■町内会 21ヶ町の町内会長、自主防災部長

《役割》町内会単位の防災まちづくり活動の主体

《取組》○町内会における防災情報の把握、情報提供

○避難訓練、耐震化や路地の適正管理の呼びかけ、協議

○防災マップ、防災設備の確認、緊急時連絡網の確認、更新作業

○空き家や災害時要支援者の状況などの防災まちづくり情報の把握

■個人 地域住民

《役割》身近な地域の防災まちづくり活動の主体

《取組》○日常的な防災意識の向上

○身近な地域でのコミュニケーションの充実

○自宅の耐震改修、路地の適正管理、避難経路の確認等

○学区や町内会が取り組む防災まちづくり活動への積極的な参加・協力

防災まちづくり取組体制

町内会を基本とした防災まちづくり
教業学区自主防災会（自治連合会と連携）

みんなで守り、支えあう
町内会・学区

自ら守る
個人・家庭

4 防災まちづくりの取組チェックシート

一人ひとりが、町内会が、まちが日頃から備え、継続的な防災まちづくり活動の取組の成果として、安全で住みよいまちが維持されます。特に町内会においては毎年役員等の改選が行われますが、それぞれの取組主体ごとの防災まちづくりの取組のチェック項目を予めみんなが確認しておくことで、教業学区では防災まちづくり活動の継続性に重点を置いた取組を進めます。

■学区の取組チェック 自主防災会＋自治連合会		チェック期間	
		毎年	概ね3年毎
情報提供	○ニュース発行や評議員会等で防災情報の提供	●	
防災訓練	○防災訓練の実施と参加者の意識向上の取組	●	
各種防災関連データ	○緊急連絡網の更新		●
	○防災マップ等の更新確認作業		●
計画チェック	○教業学区防災まちづくり計画のチェック	●	
	○各町内会防災まちづくり計画のチェックの確認	●	
空き家対策	○空き家情報の収集と空き家活用促進の取組	●	
行政等との交流	○行政との交流による情報収集と情報提供	●	

■町内会の毎年の取組チェック 町内会長、自主防災部長		学区等との関連
情報収集・報告	○会員および町内会の防災関連情報の収集、報告	○学区へ情報提供
情報提供	○会員への行政、学区からの防災関連情報の提供	○学区から情報提供
防災点検	○防災まちづくりマップにもとづく町内会の防災点検	○年1回は実施
計画チェック	○各町内会防災まちづくり計画のチェック	○年1回は実施
関連データ収集	○町内会の各種防災関連データの収集	○更新は学区で取組
空き家対策	○空き家情報の把握と情報の学区への報告	○情報は学区で集約

■個人の日々の取組チェック 地域住民		町内会との関係
耐震・防火対策	○自宅の耐震、防火性能チェック、改修の取組	
災害への備え	○日頃からの身近な防災対策の取組	
路地等適正管理	○路地や道路など避難の安全性確保のための適正管理	○町内会も見守り
空き家の適正管理	○空き家の適正管理と利活用への取組	○町内会も見守り